

関係者各位

日本老年学的評価研究（JAGES：Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。
（JAGESの概要につきましてはホームページ https://www.jages.net/about_jages/ をご覧ください）

なおJAGESのプレス発表会は「ZOOM」を用いてのオンライン開催となります。
当日の参加方法・URL等に関しましては、ホームページからの参加申込み完了後に詳細をご案内いたしますので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. **開催日時** 2025年8月29日（金）12:10～13:30（予定）
※通常回と開始・終了時間が異なりますのでご注意ください
2. **場 所** 「ZOOM」を用いてのオンライン開催
3. **内 容**

- ① 468-25-13（渡邊良太）
通所型サービスC利用グループは未利用グループと比較し
1人あたり3年間の介護給付費約50万円低い
～竹田市の利用者全体で予防給付費の23.7%に相当する約7000万円適正化～
- ② 469-25-14（田中琴音）
所得の少ない高齢者の”食の豊かさ”を保障するには経済的支援だけでは不十分
～共食習慣は生活保護利用者の食を豊かにできる可能性～
- ③ 470-25-15（笠原正幸）
地域住民の社会参加が豊かだと生活保護利用者の薬の数が少ない
～多世代に渡って10種類以上の内服薬が0.74～0.93倍少ない～
- ④ 471-25-16（佐藤衛）
社会的孤立と孤独は独立してフレイル発症と関連
～社会的孤立で約1.4倍、孤独で約1.8倍フレイル発症リスクが高まる～
- ⑤ 472-25-17（中込敦士）
インターネットが認知症を防ぐ？5.5年間の追跡データで約3割リスク低下
～外出や交流が少ない人に効果大、一方で学歴や地域による格差も～
- ⑥ 473-25-18（松山祐輔）
入れ歯を継続的に使う高齢者は寿命が長い
～20歳未満の人では9年間の死亡率に5.9ポイントの差～
- ⑦ 474-25-19（竹内寛貴）
就労継続は健康寿命の延伸に繋がる
～健康寿命喪失リスクは、退職者に比べて非農業従事者で34%、農業従事者では31%低い～

※下記⑧のプレスリリースはJAGESデータを用いた研究ではありませんが、
関連が深い内容につき、今回の発表会にて併せて皆さまにご案内させていただきます。

- ⑧ No.無し（山田卓也）
行動科学を用いた健康プログラムで健康の関心が低い層の肥満改善の効果を確認
～健康への関心がより低い従業員でBMI減少効果を確認、健康格差是正へ期待～

4. 発表者 (発表順)	代表 尾島 俊之	(一社)日本老年学的評価研究(JAGES)機構	代表理事
		浜松医科大学 医学部医学科 健康社会医学講座	教授
	渡邊 良太	愛知淑徳大学 健康医療科学部	准教授
	田中 琴音	神奈川県立保健福祉大学	助教
	笠原 正幸	国際医療福祉大学大学院 薬学研究科	大学院生
	佐藤 衛	東北大学大学院医学系研究科健康行動疫学分野	大学院生
	中込 敦士	千葉大学予防医学センター	准教授
	松山 祐輔	東京科学大学	准教授
	竹内 寛貴	千葉大学予防医学センター	特任研究員
	山田 卓也	帝京大学大学院公衆衛生学研究科	助教

5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ(下記URL)の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】https://www.jages.net/about_jages/press/participation/

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> press.ml@jages.net